

R6年度【更新研修（1日目）】障害福祉の動向に関する講義（1時間）・サービス提供の自己検証に関する演習（5時間）

小単元 (項目)	時間	番号	所要	学習内容 内容	使用する教材・ツール	形態	役割分担		手順の詳細、指導・評価上の留意点 ※緑の字は財団用です。
							講師	G F T	
オリエンテーション	9:15 ～9:30		15分	オリエンテーション (財団より)	配布資料	全体	-	-	財団より配布物の確認、研修の目的、注意事項の案内など説明 事前課題①の交換をさせる。
講義	9:30 ～10:30	1	60分	障害者福祉施策の 最新の動向	PC、プロジェク ター、スクリーン	講義(動画視聴)	-	-	講師 福岡県福祉労働部障がい福祉課障がい福祉サービス指導室 指定係 枝田 翔太氏 障害福祉施策の最新の動向に関する講義 ※事前にテスト再生し、音量等を調整しておく。
休憩	10:30 ～10:45		15分						財団の案内により休憩に入る。
〔演習1〕 事業所としての自己検証 90分	10:45 ～10:55	2	10分	演習ガイダンス (更新研修の目的、 演習1の目的及び獲得目標、役割についての説明)		全体	説明	1)前に並んでもらう。紹介後、グループの席に座る。	♡手順 1)財団事務局より講師・グループファシリテータの紹介(5分) 2)進行講師は更新研修の目的を説明する。(スライド2枚目) 3)進行講師は演習1のねらい、目標(到達点)を説明する。(スライド6枚目) 4)進行講師は演習1のスケジュールを説明する(スライド7枚目) 5)進行講師はグランドルールを説明する(スライド8枚目) 6)進行講師は司会・タイムキーパーの役割を説明し、演習1の司会者とタイムキーパーに手をあげてもらふ。(スライド10枚目、11枚目) 7)進行講師は自己紹介(アイスブレイク)、個人報告の順番について説明し、受講者が全員事前課題の順番に並び替えるよう伝え、事前課題を並び終えるまで待つ(スライド12枚目) ♡留意点 ※受講者の事前課題については、当日お渡しするファイルに入っています。 ※受講者は、自分自身の課題を6部印刷して持参し、研修当日受講者に配布します。(すでにオリエンテーションにて配布済) ※各演習の司会者・タイムキーパーは進行側で指名します。 ※障がい等の理由で配慮が必要な受講者は名簿に記載しています。 ※発表順 ①→②→③→④→⑤→⑥
	10:55 ～11:00	3	5分	アイスブレイク		G 発表	説明	2グループの進行管理	♡手順 1) 進行講師より「アイスブレイク開始」の指示が出た後、グループ内の全員自己紹介をする (スライド11枚目) ♡留意点 ※進行はグループの進行役が行い、GFTは自己紹介が円滑に進行しているか様子を見る。 ※自己紹介については事前課題①の基本情報を元に自己紹介(所属事業所名、事業内容、名前、役職等) ※発表順 ①→②→③→④→⑤→⑥でお願いします。
	11:00 ～12:00	4	60分	演習1 サビ児管として、 自身の事業所について共有し、他の受講者の情報を参考とする。	・事前課題① 演習1 ・キッチンタイマー	GW	説明・タイムキーパー	2グループの進行管理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 演習1の目的 このセッションは、サビ児管としてのスキルアップに加え、サビ児管業務を行える事業所の環境(風土)を整えることも必要なことから、事前課題①を用いて事業所の振り返り並びに参加者の事業所取組みを参考ににして良い取組を自事業所に取り入れることが目的。 </div> ♡手順 1)進行講師、GFTは全体の進行具合を見て個人報告の開始をアナウンスし、受講者は演習1の報告指示がでたらグループ全員演習1の発表を行う。 【発表1人5分、発表者が参加者に聞きたいこと5分、1人あたり計10分×6人＝60分】(スライド12枚目) ※発表順 ①→②→③→④→⑤→⑥でお願いします。 ※発表者が参加者へ聞きたい事は可能な限りグループ全員が発表者へ回答を行う。 ※発表者が参加者へ聞きたい事がない受講者については、 発表者の左に着席している受講者から時計回りに発表者へ時間が許される限り質問する。 ♡留意点(演習の進め方)【各セッション共通】 ※GFTは各グループの司会者がうまく進行を行っているか、できるだけ多くの受講者が発言できているか確認を行う。 ※GFTは受講者の質問が何もなかった場合やグループ全員が早めに発表を終えた場合に備えて質問できるよう準備をお願いいたします。 ※報告及び質疑の時間は厳守させますが、途中経過～分等の案内は全体進行講師が行います。 ※事前課題の内容整理は批判的なことは避け、良い取組みと思われた内容について意見交換、自身の事業所でも参考にしたいことを整理する。

R6年度【更新研修（１日目）】障害福祉の動向に関する講義（１時間）・サービス提供の自己検証に関する演習（５時間）

小単元 (項目)	時間	番号	所要	学習内容		形態	役割分担		手順の詳細、指導・評価上の留意点 ※緑の字は財団用です。
				内容	使用する教材・ツ		講師	G F T	
	12:00 ～12:15	5	15分	個人・全体まとめ		発表・ 全体	司会	-	<p>❖手順</p> <p>1)進行講師より自己検証シートへ事業所の課題、今後取り組みたいことについて記入説明を行い、受講者は自己検証シートを記入する(スライド16枚目)まとめを行う。(5分)</p> <p>2)進行講師より個人発表(2名ほど)(5分)</p> <p>3)進行講師より全体のまとめを行う(スライド16・17枚目)(5分)</p> <p>❖留意点</p> <p>※進行講師はまとめとして、「事業所として法令順守は必須」、「利用者支援を行う上での組織の体制整備が必須」、「サビ児管としてスキルアップも必要」ということを伝える。</p> <p>※スライド17は使用しなくても良い。</p> <p>※お昼休憩に入る際は、財団から案内する。</p>
休憩	12:15 ～13:05		50分						
〔演習2〕 サビ児管 としての 自己検証 120分	13:05 ～13:10	6	5分	演習ガイダンス (演習2のスケジュール、 進め方についての説明)		全体	説明	-	<p>1)進行講師は演習2のねらい、目標(到達点)を説明する。(スライド20枚目)</p> <p>2)進行講師は演習2のスケジュールを説明する(スライド21枚目)</p> <p>3)進行講師はグラドルールを説明する(スライド22枚目)</p> <p>4)進行講師は司会・タイムキーパーの役割を説明し、演習2の司会者とタイムキーパーを発表する。(スライド23枚目、24枚目)</p> <p>5)進行講師は個人報告内容、順番について説明し、受講者が全員事前課題の順番に並び替えるよう伝え、事前課題を並び終えるまで待つ(スライド25枚目)</p> <p>※発表順 ③→④→⑤→⑥→①→②をお願いします。</p> <p>❖留意点</p> <p>※グループファシリテータは全員が事前課題を発表順に並び替えているか確認をして、フロアフォロー講師と全グループが完了しているか共有出来次第へ進む。</p>
	13:10 ～14:50	7	90分 + 休憩10 分	演習2 サビ児管として、 サービス提供のプロ セスと管理について 共有し、 他の受講者の情報 を参考とする。	・各自で取り組んできた 事前課題①演習2 ・キッチンタイマー	GW	説明・ タイム キーパー	2グループの進行管理	<div>このセッションは、①サビ児管の主な業務について事前課題2を用いて自己の業務を振り返り、グループ参加者の意見も参考にしながら、できていないところは把握することが目的。</div> <p>❖手順</p> <p>1) 進行講師より演習2の報告開始の指示がでたらグループ全員演習2の発表を行う。 【発表1人7分30秒、発表者が参加者に聞きたいこと7分30秒、1人あたり計15分×6人＝90分】 (スライド25枚目)</p> <p>※発表者が参加者へ聞きたい事は可能な限りグループ全員が発表者へ回答を行う。</p> <p>※発表者が参加者へ聞きたい事がない受講者については、発表者の左に着席している受講者から時計回りに発表者へ時間が許される限り質問する(グラドルールで説明します)</p> <p>※発表順 ③→④→⑤→⑥→①→②をお願いします。</p> <p>❖留意点(演習の進め方)【各セッション共通】</p> <p>※GFTは各グループの司会者がうまく進行を行っているか、できるだけ多くの受講者が発言できているか確認を行う。</p> <p>※GFTは受講者の質問が何もなかった場合やグループ全員が早めに発表を終えた場合に備えて質問できるよう準備をお願い致します。</p> <p>※報告及び質疑の時間は厳守させますが、途中経過～分等の案内は全体進行講師が行います。</p> <p>※事前課題の内容整理は批判的なことは避け、良い取組みと思われた内容について意見交換、自身の事業所でも参考にして取り組んでみたいことを整理する。</p> <p>※グループの発表が3名完了した時点で、お手洗い、指示をGFTから行っていただいて構いません。</p> <p>※進行講師からも15分ごとに次の発表者に移るようアナウンスを行っていただきます。</p>
	14:50 ～15:15	8	25分	個人まとめ、全体まとめ		全体 講義・ 発表	進行	-	<p>❖手順</p> <p>1)進行講師より自己検証シートへサビ児管の課題、今後取り組みたいことについて記入説明を行い、受講者は自己検証シートを記入する(スライド33枚目)まとめを行う。(約10分)</p> <p>2)進行講師より個人発表(3～5名ほど)(約10分)</p> <p>3)進行講師より全体のまとめを行う(スライド34枚目～スライド40枚目)(約5分)</p> <p>❖留意点</p> <p>※進行講師はまとめとして、「サービス提供のプロセス、サービス内容のチェック、他の従業員に対する助言や指導、スーパービジョン等」が大事だということを伝える。</p> <p>※講師のまとめは5分だが、時間が延長する場合は自己検証シート記入時間を調整する。</p>

R6年度【更新研修（１日目）】障害福祉の動向に関する講義（１時間）・サービス提供の自己検証に関する演習（５時間）

小単元 (項目)	時間	番号	所要	学習内容		形態	役割分担		手順の詳細、指導・評価上の留意点 ※緑の字は財団用です。
				内容	使用する教材・ツ		講師	G F T	
【演習3】 関係機 関との連 携等につ いての自 己検証 90分	15:30 ～15:35	9	5分	演習ガイダンス (演習3の目的及び 獲得目標、 進め方についての説 明)		全体 講義	説明	-	❖手順 1)進行講師は演習3のねらい、目標(到達点)を説明する。(スライド43枚目) 2)進行講師は演習3のスケジュールを説明する(スライド44枚目) 3)進行講師はグランドルールを説明する(スライド45枚目) 4)進行講師は司会・タイムキーパーの役割を説明し、演習3の司会者とタイムキーパーを発表する。(スライド46枚目、47枚目) 5)進行講師は個人報告の内容、順番について説明し、受講者が全員事前課題の順番に並び替えるよう伝え、事前課題を並び終えるまで待つ(スライド48枚目) ※発表順 ⑤→⑥→①→②→③→④でお願いします。 ❖留意点 ※受講者が事前課題を発表順番に並び替えるまで全体でまつ。 ※グループファシリテータは全員が事前課題を発表順に並び替えているか確認をして、フロアフォロー講師と全グループが完了しているか共有出来次第次へ進む
	15:35 ～15:55	10	20分	演習3 演習前の話題提供		全体 講義	説明	-	❖手順 1)演習前の話題提供を行う(10分) 2)自立支援協議会の取組について動画紹介し、協議会へのイメージアップを図る(10分) ※デスクトップに動画を2つ用意しているので、どちらかを選択して流す。
	15:55 ～16:55	11	60分	演習3 サビ児管として、関 係機関との連携につ いて共有し、他の受 講者の情報を参考と する。	・各自で取り組んで きた 事前課題①演習3 ・キッチンタイマー	G 演習	説明・ タイム キーパー	2グループの進行管 理	<div>このセッションは、①サビ児管として「関係機関との連携」について事前課題3を用いて業務を振り返り、グループ参加者の意見も参考にしながら、 できていないところは把握することが目的。</div> ❖手順 1) 進行講師より演習3(関係機関との連携)の報告開始指示がでたらグループ全員演習3(関係機関との連携)の発表を行う。 【発表1人5分、発表者が参加者に聞きたいこと5分、1人あたり計10分×6人＝60分】(スライド48枚目) ※発表者が参加者へ聞きたい事はグループ可能な限り全員が発表者へ回答を行う。 ※発表者が参加者へ聞きたい事がない受講者については、 発表者の左に着席している受講者から時計回りに発表者へ時間が許される限り質問する(グランドルールで説明します) ❖留意点(演習の進め方)【各セッション共通】 ※発表順 ⑤→⑥→①→②→③→④でお願いします。 ※GFTは各グループの司会者がうまく進行を行えているか、できるだけ多くの受講者が発言できているか確認を行う。 ※GFTは受講者の質問が何もなかった場合やグループ全員が早めに発表を終えた場合に備えて質問できるよう準備をお願い致します。 ※報告及び質疑の時間は厳守させますが、途中経過～分等の案内は全体進行講師が行います。 ※事前課題の内容整理は批判的なことは避け、良い取組みと思われた内容について意見交換、自身の事業所でも参考にして取り組んでみたいことを整理する。
	16:55 ～17:00	12	5分	個人まとめ		全体 講義	進行	-	❖手順 1) 進行講師より、自己検証シートへ事業所の課題、今後取り組みたいことについて記入説明を行い、受講者は自己検証シートを記入する。(3分) 進行講師よりまとめを行う。(スライド57枚目) ❖留意点 ※進行講師はまとめとして、「連携の必要性、サービス事業所の責務、(自立支援)協議会を知ること、少しでも参加することが必要」という事を伝える。
閉講	17:00～ 17:05		5分	案内(財団より)		全体	-	-	財団より2日目の案内、課題の返却について案内、閉講する。 自己検証シートの回収。

※注意事項
・名札はつけてください。
・2日目のGFTのための引継ぎ書の記入をお願いします。
・名簿と事前課題以外の資料についてはお持ち帰りいただいて結構です。
・メモは自由にご使用ください。